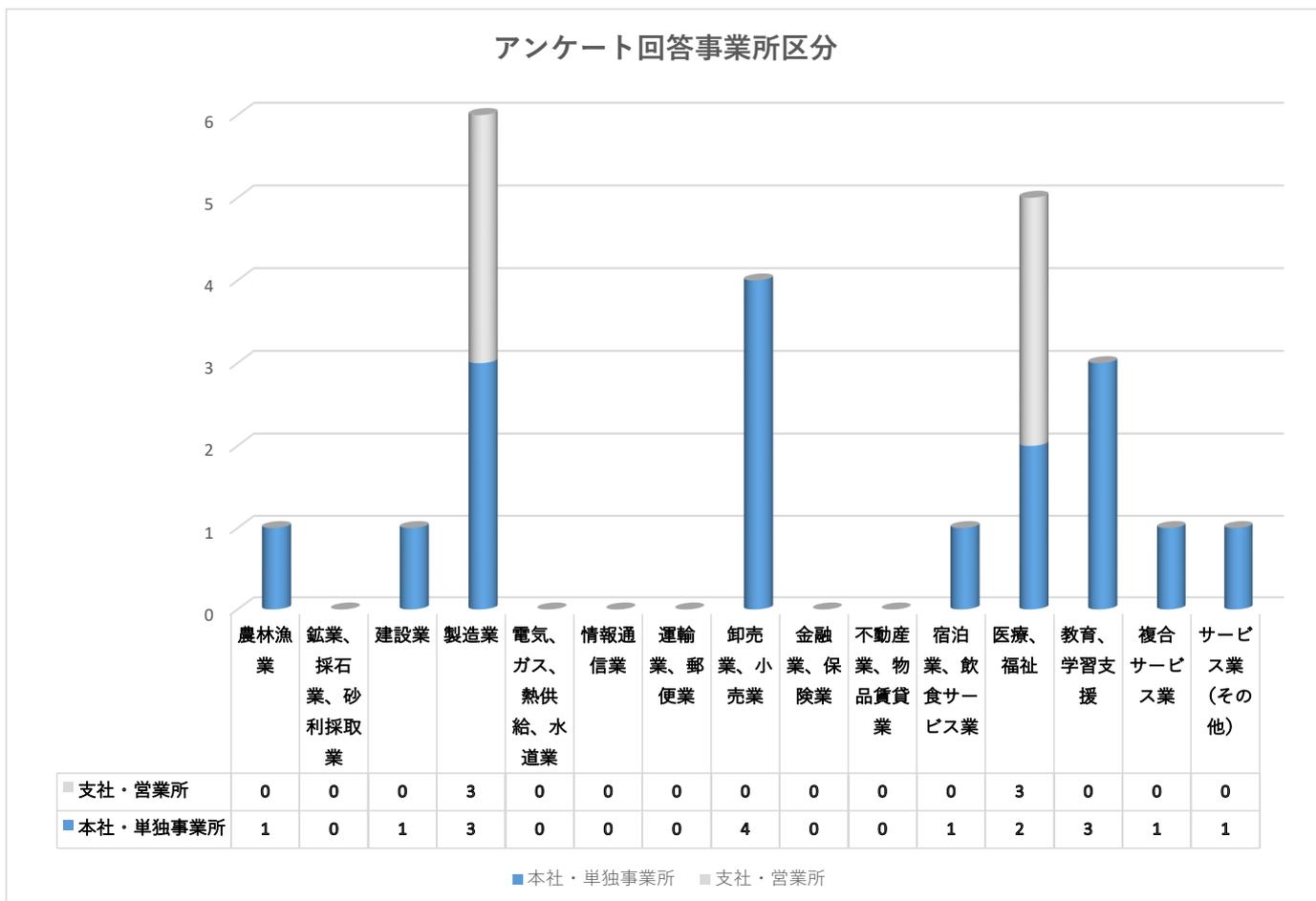


奨学金返還助成・地域の人材確保に関する事業所アンケート結果

1. アンケート送付事業所数 77事業所
2. アンケート回答事業所数 23事業所 (回答率29.9%)

3. アンケート集計結果 (2020年11月実施)



	男性	女性	計
正規従業員数(人)	758	665	1,423
うち令和2年度新卒採用者数(人)	9	13	22
うち市内在住者(人)	7	8	15
うち大卒者等(人)	0	4	4
非正規従業員(人)	121	267	388
全従業員数(人)	895	957	1,852

- ・ 正規従業員数のうち令和2年度新卒採用者数の割合 (22/1,423人) 1.5%
- ・ // うち市内在住者数の割合 (15/1,423人) 1.1%
- ・ // うち大卒者等の割合 (4/1,423人) 0.3%
- ・ 令和2年度新卒採用者数うち市内在住者の割合 (15/22人) 59.1%
- ・ // うち大卒者等の割合 (4/15人) 26.7%

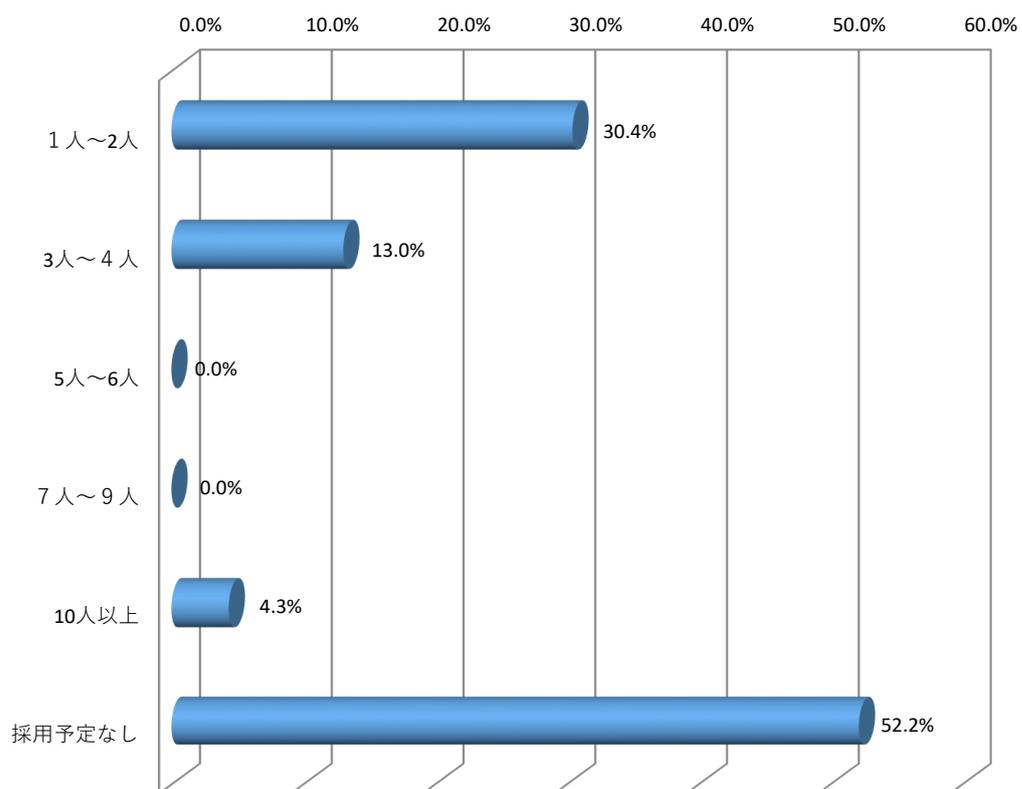
【集計結果の端数処理】

1. 回答比率は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、個別に積み上げたパーセントの合計が100%にならない場合があります。
2. 回答比率の分母となる回答数は、「n」として掲載しています。

採用者・求人の状況について

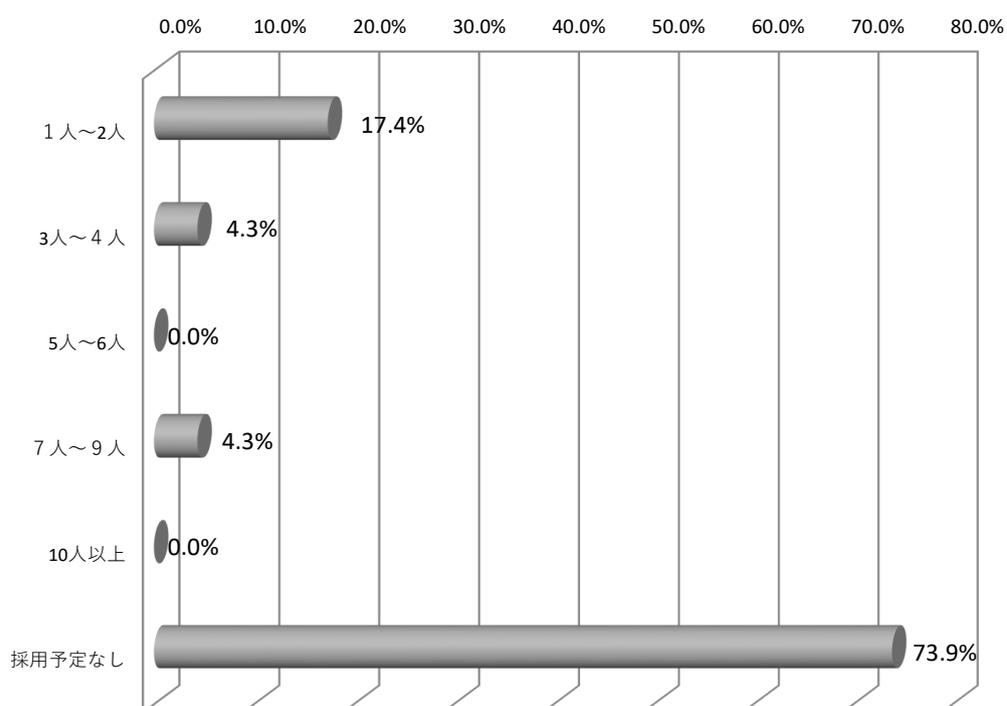
【問1】令和3年度の新卒採用の求人数はどれくらいですか。

< n = 23 >



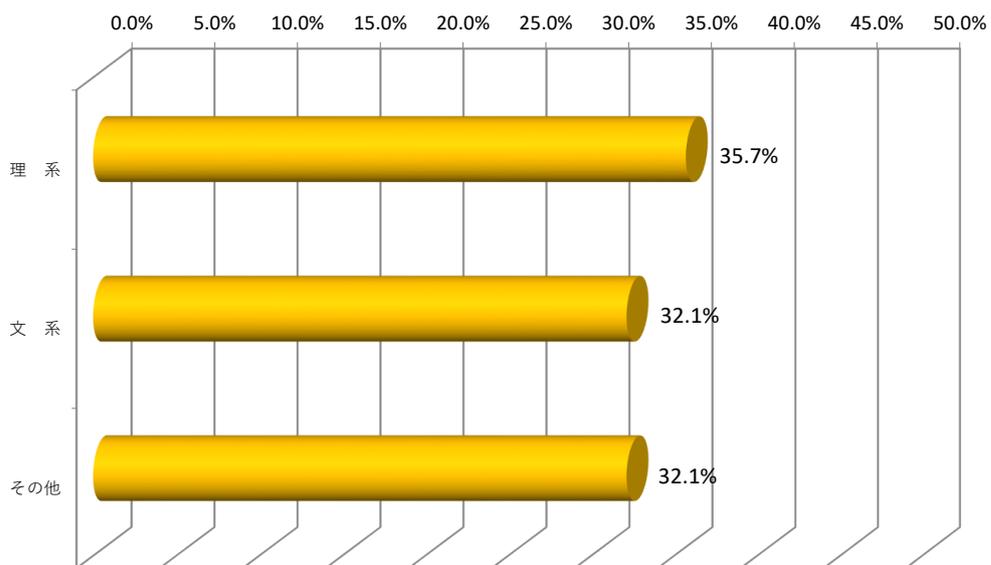
【問2】問1のうち大学等新卒採用の求人数はどれくらいですか。

< n = 23 >



【問3】大学等新卒者の採用にあたって、どのような学部の卒業生が必要だと思いますか。

< n = 28 >



【問3】 その他

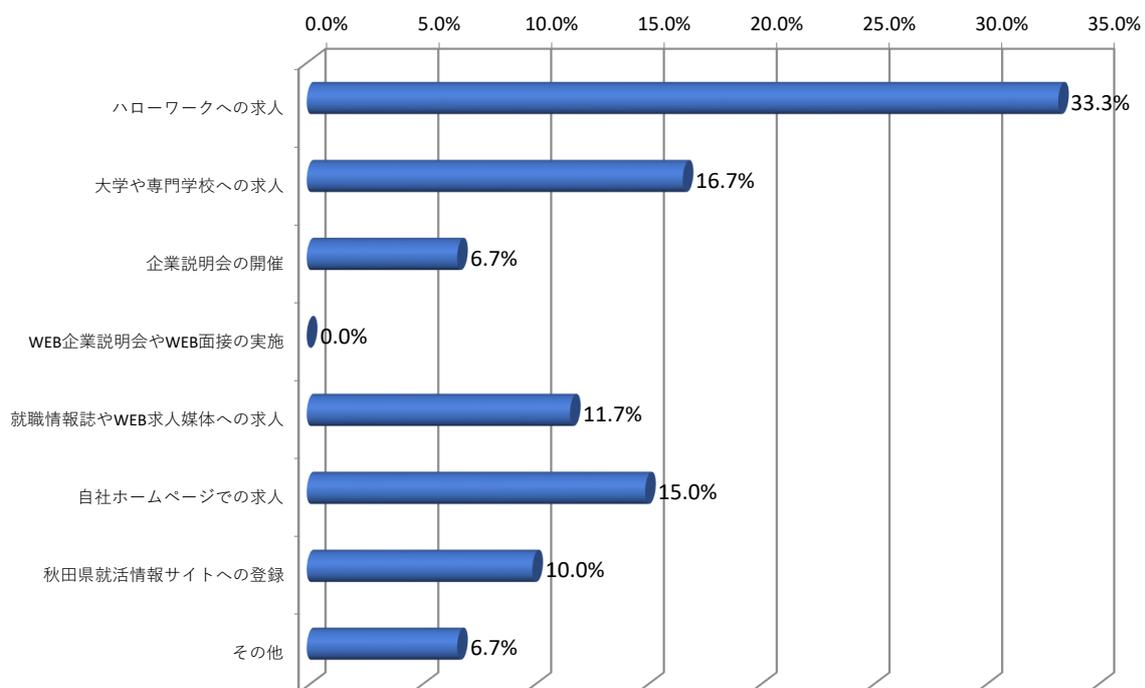
農学部、工学部、教育・福祉

デザイン学部、情報工学、経済学部、機械学部、法学部

医学部保健学科等

幼児教育学部、保育学科

【問4】大学等新卒者の募集活動や人材確保はどのような方法で行っていますか。（複数回答可） < n = 60 >



【問4】 その他

研究所やアドバイザーからの紹介

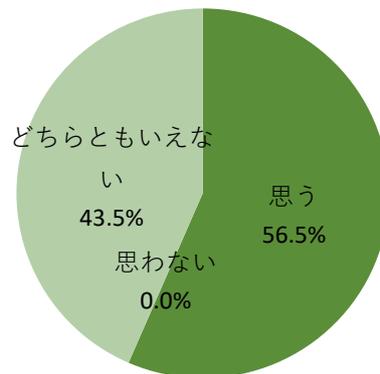
実習生に直接、地元で就職するかどうかを聞いている

実習生への声かけ

採用者への奨学金返還助成について

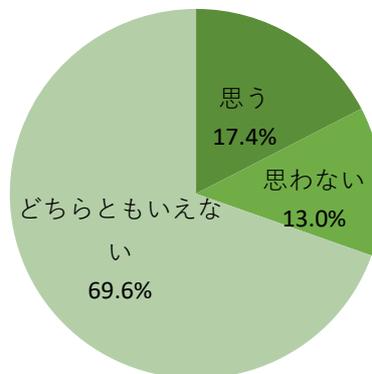
【問6】奨学金返還助成は、就職等により地域に定着する人材の確保につながると思いますか。

< n = 23 >



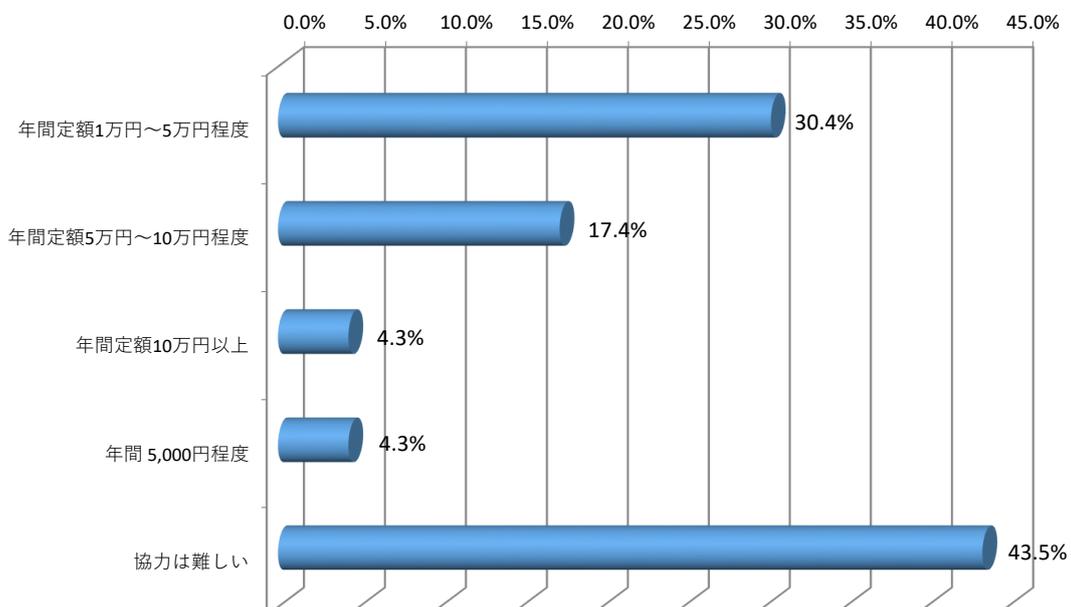
【問7】未来ファンドに投資し、奨学金返還助成制度を利用した自社への就職者確保を活用したいと思いますか。

< n = 23 >



【問8】未来ファンドへの投資額について、どれくらいなら協力できると思いますか。

< n = 23 >



【問9】企業において奨学金返還助成制度に参加するうえでどのような課題があると思いますか。

(自由記述)

- 奨学生・企業、双方のメリットと責務をどのように担保するか。かなりしっかりと決めておく必要があり、それ等をしっかり守れるかどうかが課題と思われる。
- 都市部との賃金格差が大きい職業の場合は、奨学金返還助成制度を導入しても地域移住・定住のインセンティブとならない可能性が大きい。
- 制度を見越した就職希望者への対応など
- 最終的に単なる地域貢献になってしまわないような仕組みが必要ではないだろうか。企業としてはあくまでメリットがなければ投資にはならない。
- 自社に就職してくれればいいのですが
- 定着の一手段としては良いと思いますので特にありません。賛同できる趣旨であれば是非参加したいです。
- 医療関連業種の場合、自立可能な給与が得られる場合が多く、制度の訴求力がどれほどあるのか想像が付きません。

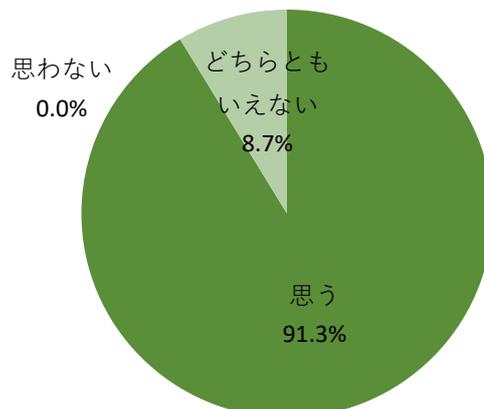
- ・本社及び経営層への本制度の主旨説明ならびに理解が必要。それによって投資額も変わってくると思う。
・企業単体での奨学金助成制度も検討する余地がある。
- 企業側の待遇面の問題もあるが、参加することで確実に人材確保ができるというものでもないこと。また、湯沢市に限定して若者人口を増やすための手伝いをするということになるので、組織として他市町村への対応をどう考えるか。

- 都会との賃金格差が大きく、奨学金返済制度の支援だけでは地域に就業するインセンティブに繋がらない場合が多い。

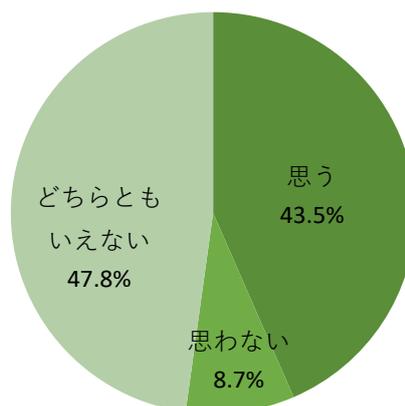
- 毎年、未来ファンドへの投資ができるかは不安、年によって業績も変わるので
- 内容の周知徹底と市民の理解

地域の人材確保及び学生への企業PRについて

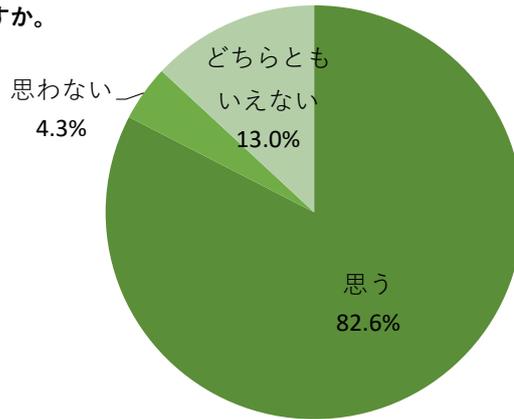
【問10】中高生を対象とした地元企業を紹介する機会が必要だと思いませんか。 <n = 23>



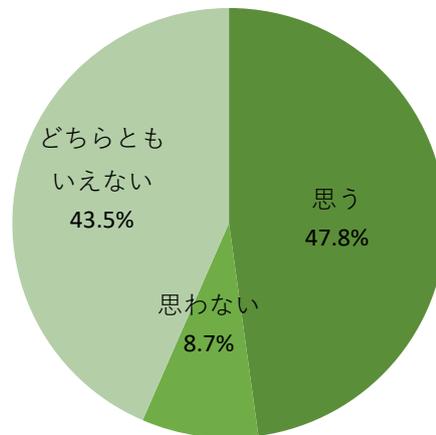
【問11】中高生を対象とした企業紹介授業に講師派遣の依頼があれば協力したいと思いますか。 <n = 23>



【問12】 中高生を対象とした職場体験・インターンシップの依頼があれば協力
したいと思いますか。 < n = 23 >



【問13】 市が無料で大学生等を対象とした企業説明や、求人情報発信をオンラ
インイベントで実施する場合、参加したいと思いますか。 < n = 23 >



【問14】 企業において地域の人材確保を進めるうえでどのような課題があると思いますか。（自由記述）

- ・地方の地元において求職・就職の双方のマッチングのネットワークが乏しい。
・双方の条件が折り合いにくい。
- 企業説明会のような形式で行われる場合、児童施設や介護施設など専門的な分野の人材を求める企業は参加しても人材確保に繋がらない。関連する特定の大学や養成機関が地域になければ難しい。
- テレビやYouTubeで情報を得る現代の中高生に対して、我々企業人が出来る限り多くの情報を得る機会を作る必要があると思う。彼らが地元企業について知る機会がもっとあれば数字は全く変わってくるのではないだろうか。
- 人材の絶対数が足りない。
- 大卒等の介護従事者は都市部に流れやすいこと。
- 売手市場の中で、卒業後に地元で働いて生活するメリットが少ないこと。
- 賃金設定、学生が求める仕事に答えられるような企業となりえるよう魅力ある環境作り
- 学生がこの地に就職し生活していく中で何を求めるのかしっかりニーズを掴む必要があると思う。それに対して市、企業で何ができるのか共同体で取り組んでいかなければならないと思う。
- そもそも少子化なうえに大学等への進学はもちろん県外就職や他市町村への就職希望が増えている。ただ人数を確保すれば良いのではないこと。
- 賃金が他県と比べて安いと思うので、そこに課題があると思う。
- 介護・福祉系の学部が少なく、ハローワークで説明会を行っても参加者が極めて少ない。事業主の努力では限界がある。
- 自社のPR活動

【問15】 企業において、採用者の奨学金返還助成や地域の人材確保に当たっての思いやアイデア等ありましたらご自由にご記入ください。

- 企業説明会や求人情報の発信による人材確保は、例えば「女性」や「特定の資格を持った方」などターゲットを絞った企画も考えてはどうでしょうか。
- 実現するならばこういった仕組みを中学生にもPRしてほしい。そうすれば進学に夢をもち、さらにその先の将来を早く考えるきっかけになるかもしれない。私たちは「お金を稼ぎたい、こういった仕事で社会に貢献したい」という人材を学歴によらず欲しい。都会で学んで、自分がこの地域を変えに返ってくるのが夢だという学生が増えたらいいと思う。
- 地域の会社をよりよく、若者や学生に知ってもらう。また、都会に就職するより地元就職したほうがこういういい事があるよ。といった、内容を広く周知させた方がいいのでは？地元の学生はどんどん減っていくのは、分かっているので、他県、他国から就職人材に来てもらう為の、市の魅力的な施策があれば嬉しいと思います。
- 奨学金返還に加えて、就職後の家賃助成など、負担減が実感できる制度があるとより実効性が高まるかなと思いました。また、市で遠隔地の学生に名産品を送る事業がありましたが、コロナ禍もあってか少なくとも私の子供は郷愁にかられた様で、在学中からなんらかの支援を継続することも良い結果につながるのではないかと思います。
- 資料に奨学金を活用した～とありましたが、単に奨学金の返還助成なので誤解を招きそうです。未来ファンドというならば、奨学金や家賃助成のような形で在学中に与える仕組みがあってもいいのかなと思いました。
- 進学等で上京した学生が、田舎にわざわざ帰ってきてまで勤めたいと思う魅力ある企業が数多く存在しなければ、あるいは町自体が住みやすく魅力的でなければ、良い人材を呼び込むことはできない。最近ではコロナの影響で田舎に戻って就職先を探す人も増えているようだ。未来ファンドの内容を理解していないが、新卒者だけでなく返済途中の30代以降の人などまでカバーできるものなのか。
- 湯沢市の良さや地元で働くことの良さなどをもっとPRしていけば良いのではないかと思います。（今でもPRしていると思いますが）
- 介護・福祉系の職業などエッセンシャルワーカーの確保は重要で、こうした職業（女性が多い）を対象を絞った取組が必要。労働政策と連携したトライアル雇用（働きながら資格を取得）の拡充や潜在的な資格取得者の活用などを検討してはどうか。
- 採用先の事業所を確保してもらえると助かるのではないのでしょうか。希望の職種の就職先が無いと助成を利用しても不安になるのではないのでしょうか。